

日 方 川

大樹高校PTAだより

第 130 号

令和3年10月27日発行

発行人 吉野 裕之

編集人 黒澤 和弘

木村 由美

播間 淑晃

「一期一会 (このひと時を大切に)」

PTA会長 吉野 裕之



大樹高校での三年間で一生の友達と出会い、先生方の親身な指導を受けて、皆さんは充実した高校生活を送っていることと思います。

七月の学校祭も仲間と協力して遅くまで準備の時間を過ごしたと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で学校生活全般に制約

「地域と共に歩む大樹高校」

校長 前田 英伸



PTA会員の皆さまには、日頃より本校の教育活動につきまして、多大なる御協力、御支援をいただき厚く御礼申し上げます。今年度4月に同じ十勝管内の鹿追高校より大樹高校へ着任いたしました。十勝帯広の出身者として、故郷の地域社会に力を尽くす機会をいただき、大変うれしく光栄に思っています。

さて、令和三年度も前半を終えようとしています。新型コロナウイルス感染症の状況が思わしくなく、学校現場では、よりいっそう徹底した感染対策により、様々な制限が求められています。そのような中にもかかわらず、大樹高校生は、全体として落ちついた学校生活を送り、一人ひとり着実に資質・能力を伸ばしています。今年度三学年の総合的な探究の時間を二単位に増単し、「夢叶えるプ

がある中で、みんなで力をあわせて学校祭を成し遂げたことは青春の一ページに刻まれることでしょう。一方で、台湾への修学旅行が国内に変更になり、生徒数減少による教職員削減もあり強歩遠征が開催できなくなっただことはとても残念です。

PTAの活動も木の上に立つて見守るという状態で具体的な活動がまったくできていません。でも、限られた状況の中で皆さんがたくましく高校生活を送っていることに敬意を表します。私たち保護者は毎日あなたたちと生活することがかけがえのない大切な時間です。近い将来旅立つ時までの貴重な時間「このひと時」を大切にしたいと思っています。

ロジエクト in 大樹」をスタートさせました。

宇宙・観光・食・地域興し各分野の地域の方々と学校が協働しながら、地域共創をテーマに探究学習を進めました。生徒たちはグループごとに、課題設定、情報収集、整理、分析、検討、企画立案、発表という主体的・協働的学びを通じて、思考力・判断力・表現力を養い、多様な考えや価値観を発見しました。発表会に参観していただいた方からも高い評価をいただきました。また、昨年度は代替行事となった学校祭も、今年度「大高祭」として実施しました。パレードや一般公開等はできませんでしたが、生徒達は主体的にルールを作り、昨年度の経験を生かしながら感染対策と行事を両立させ、全校一丸となつてすばらしい成果を上げてくれました。

現代は、感染症のような身近に起こる様々な課題が、地球規模で多くの人々とつながっているグローバルの時代です。大樹高校はこれからも、地域・保護者・学校が一体となつて、主体的に地域社会へ参画し、そこからグローバルに活躍できる人材を育てていきますので、今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願いいたします。

「高校に入学して」

一年A組 道見 篤

高校に入学するまで新しい環境になるという事でとても不安でした。今まで一緒にいた友達は違う高校に行つてしまい、人と話すのがあまり得意ではなかったのですが、信頼できる友達ができ、たくさん話をしているうちに、苦手だった人と話すことも少しずつ良くなってきました。ただ高校に入つていろいろな人と関わっているうちに、新しい課題も出来たので、改善できるように頑張りたいです。

勉強面も先生方の授業が分かりやすいので、これからどんな進路に行くにしても妥協しなくていいように、たくさん勉強をしようと思っています。

これからも勉強も友達関係も両方頑張っていきたいです。



第74期 入学おめでとう

「初めての学校祭」

一年A組 廣瀬 芹菜

この学校祭は入学してから初めての大きな行事でした。二十二人と少ない人数、少ない準備期間の中、みんなで協力して取り組むことが出来たと思います。

学校祭一週間前は、当日までに出来上がるのか不安でしたが、自分のやる事が終わった人から手伝いをしてくれて、当日までに出来上がっていたので良かったです。いろいろ探めたりはしましたが、当日は学校祭を楽しむことが出来ました。緑日の時には、たくさん色々な人が来てくれて釣りや輪投げを楽しんでくれたのでとても嬉しかったです。仮装パフォーマンスもとても緊張しましたが、間違えずに踊れたのでとても安心しました。そして、楽しかったです。私はこの初めての学校祭で協力することの大切さを改めて感じました。来年も探めることがあるかもしれませんが、今年と同様にみんなと協力して取り組みたいと思いました。学校祭で学んだことは、日常生活でも活かしていけるようにしたいです。



「成長」

一年A組 担任 高谷 光



四月の入学式から早くも半年が過ぎようとしています。入学当初は慣れない高校生活に戸惑いがあつた一年生も、日々の学習や様々な行事を通して、高校生らしい姿が見えるようになり、明るく賑やかな雰囲気の中で日々少しずつ成長しながら生活を重ねています。

特に初めての学校祭では、どのように取り組めばよいか手探りの中、一人ひとりが考えながら行動し、素敵な学校祭を作り上げてくれました。意見がぶつかり合うこともありましたが、その中でお互いに向き合うことができ、より深い関係性を築くことができたのではないのでしょうか。来年度は今回の経験を生かし、よりよいものを作り上げてくれると期待しています。

話は変わりますが、「自分の感情・欲望などに打ち勝つ」「自分の弱い心に負けない」という意味で「克己」という言葉があります。また、「敵は相手ではなく自分の中に潜んでいる」という意味で、「敵は我にあり」という言葉もあります。

「できるだけ楽をしたい」「まあ、このぐらいいいか」など、普段の生活の中で弱い心が出てくることが多々あります。少し高いハードルを越えようとするときは、こうした弱い心に打ち勝ち勝っていくかが、大きなポイントになると思えます。簡単なことではありませんが、日ごろからちょっとした自分の弱さに打ち勝つ習慣をつけてみてほしいと思います。

今の自分は過去の自分の積み重ねです。充実した高校生活を過ごし、一回りも二回りも大きく成長することを願っています。

「前程万里」

一学年 主任 中島 由佳



静まり返った教室、ぎこちない笑顔。四月のA教室は、二十二名の戸惑いと緊張感に満たされていた。「初めまして」の入学式から約半年経った今、笑い声や話し声の溢れる教室へと様変わりしています。

A年りの答えに向かって、模索を続けた大高祭。その道のりの中で、気持ちが変わることもありましたが、それでも、お互いをわかり合おうとすることを諦めず、歩み寄り、心を一つに本番を迎えることができました。二十二名が迷いながら、多彩な能力を結集して創り上げた大高祭は、全ての部門において、集団としての潜在能力の高さを見せつけられたと思います。来年は、御家族の皆様にも間近で観ていただける状況になっていることを願うばかりです。

生徒の皆さん。三年間の高校生活は、驚くほど短く感じられるものです。ですから、全力で学んでください。全力で遊んでください。全力でぶつかり合ってください。全力で笑ってください。将来の夢が叶えられるように学業に励むことはもちろんですが、今しかないこの時を、欲張りな程に楽しんで欲しいのです。新型コロナウイルス感染症に翻弄される日々が続きますが、「コロナ禍だから何もできなかった」「高校生活ではなく、コロナ禍だけだ」と挑戦した三年間になるよう、背中を押していきたいと思っています。

感染症の拡大が終わりの見えない状況にありますが、引き続き、御家族の皆様のご理解と御協力をいただきながら教育活動を進めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

高体連・高野連十勝地区大会・高文連結果

テニス部

○全十勝高等学校ソフトテニス大会
男子ダブルス 2 回戦敗退 (小室・齊藤)
女子ダブルス 1 回戦敗退 (末下・大澤)

○全十勝高等学校ソフトテニス選手権大会
男子ダブルス 1 回戦敗退 (小室・齊藤)
女子ダブルス 1 回戦敗退 (末下・大澤)

○第74回北海道高等学校ソフトテニス選手権大会
十勝支部大会
男子団体戦 予選リーグ3位
男子ダブルス 1 回戦敗退 (小室・齊藤)
女子ダブルス 2 回戦敗退 (末下・大澤)

○バドミントン部
大会不参加

○バスケットボール部
高体連十勝支部予選会
1 回戦 大樹 48-154 帯広工業高校

野球部

○春季大会十勝支部予選 (5校連合)
1 回戦 大樹 1対8 帯広北 (7回コールド)
○選手権大会十勝支部予選 (4校連合)
1 回戦 大樹 7対0 幕別清陵 (7回コールド)
2 回戦 大樹 0対12 帯広農業 (5回コールド)

○サッカー部 ※今年度は池田高校と合同チーム
北海道高等学校春季サッカーフェスティバル帯広大会
池田・大樹 0-0 白樺学園A 3
池田・大樹 0-0 帯広三条B 2
池田・大樹 1-0 帯広南商業 0
池田・大樹 2-0 帯広緑陽B 0
池田・大樹 1-0 帯広柏葉 0
池田・大樹 6-0 足寄・更農・上士幌 3

○第74回北海道高等学校サッカー選手権大会十勝支部予選
兼全十勝高等学校総合体育大会サッカー競技北海道大会十勝支部予選
一回戦 池田・大樹 2-1 芽室 3
Fリーグ戦 前期Bブロック
1 回戦 池田・大樹 0-0 帯広柏葉 3
2 回戦 池田・大樹 4-0 帯広農業 0
3 回戦 池田・大樹 0-0 帯広大谷 3
4 回戦 池田・大樹 1-0 帯広北 5
5 回戦 池田・大樹 1-0 帯広緑陽 9
○第100回全国高校サッカー選手権大会十勝支部予選
1 回戦 池田・大樹 0-0 7 白樺学園 (9/5)

陸上競技部

○高体連十勝支部大会 帯広の森陸上競技場
男子1100m 工藤哉真斗 16秒99
男子1000m 工藤哉真斗 16秒99
男子2000m 山崎翔太 12秒76
男子4000m 山崎翔太 6秒72
男子走幅跳 川口颯斗 5m55
女子4000m 工藤哉真斗 7秒52
女子走幅跳 平田乃愛 74秒56

○高体連全道大会 室蘭市入江陸上競技場
男子1100m 工藤哉真斗 16秒88
男子1100m 工藤哉真斗 16秒88
男子1100m 工藤哉真斗 16秒88
男子1100m 工藤哉真斗 16秒88

○新人戦十勝支部大会 帯広の森陸上競技場
男子1100m 工藤哉真斗 16秒33
男子1100m 工藤哉真斗 16秒33
男子1100m 工藤哉真斗 16秒33
男子1100m 工藤哉真斗 16秒33

○男子三段跳 川口颯斗 10m49
男子1000m 山崎翔太 11秒08
男子2000m 工藤哉真斗 11秒84
男子走幅跳 川口颯斗 5m60
男子走幅跳 川口颯斗 5m60

バレーボール部

○令和3年度 バレーボール春季高校大会
1 回戦 大樹・足寄 0-2 帯広柏葉
○令和3年度北海道高等学校総合体育大会バレーボール競技大会兼令和3年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会十勝支部予選会
1 回戦 大樹・足寄 0-2 帯広三菜

吹奏楽部

○高文連十勝支部音楽発表大会「優良賞」
定期演奏会 (11/21 コスモスホール) 予定

茶道部

○高文連十勝支部茶道専門部野点研修会参加 (3名)
高文連十勝支部茶道専門部茶会研修会 新型コロナウイルス感染症のため中止

美術部

○高文連十勝支部美術展出品
大林 廉 (3A) 廣瀬 敬太 (3A)
高橋 智季 (2A) 小川翔乃花 (1A)
松田 玲奈 (1A)

○全道高等学校美術展出品
大林 廉 (3A) 高橋 智季 (2A)
全道優秀賞受賞
大林 廉 (3A)

クッキング部

○牛乳・乳製品利用料理コンクール応募

「大樹高校祭」の様子

「学校祭を終えて」

三年A組 小室 颯汰

僕たち三年生は今年で最後の学校祭となりました。三年間の集大成としての学祭はクラスの一人一人が輝いていて、最高に楽しめたと思います。衣装は一人一人の個性そして、役割に合っていて、とても良かったです。

そして、生徒会副会長として、学校祭実行委員もしました。今年も新型コロナウイルスの影響で制限がある中、学校祭をする事が出来て良かったです。一日目のオープニングの司会を務め、とても緊張しましたが、盛り上がり良かったので安心しました。生徒会として今年の三月ぐらいから学校祭の話を進めてきましたが、あつという間に終わってしまいました。途中途中で上手いかなということがありましたが、無事に終わって良かったです。今年は三年生らしく学校祭を楽しむことができたと思うし、各クラス一人一人の個性が溢れる学校祭になったと思います。

学校祭が終わることが寂しいですが、思い出に残る学校祭になったことを嬉しく思います。

「2年目の学祭を終えて」

二年A組 内田 愛

これは、学祭準備期間のお話です。

クラス企画では、買い出しの際、まさかのお店に必要な道具が売ってなく、そこからの買い出しでもグタグタしてしまい、消毒だけ買ってきたり、景品のお菓子をかうためだけにサツドラまで行ったり。

垂れ幕では、絵の具でジャージを汚したり、絵の具をこぼしたり、絵の具のついた新聞紙を踏んで足を汚したりと、ハプニングがたくさん。

衣装パフォーマンスでは、今年の衣装の難易度が高く、スポンが出来たと思ったら、パツパツだったり、肩幅が合わなかったり。

準備期間から各部門いろいろなことがあったりしましたが、今となってはどれもすごく良い思い出です。来年最後の学祭、頑張ろう！！



令和3年度PTA役員

四 役

会 長	吉野 裕之 (3年)
副会長	黒澤 和弘 (2年)
副会長	播間 淑晃 (1年)
副会長	前田 英伸 (校長)
会 計	大木 忍 (1年)
会 計	木村 晃彦 (事務長)
監 査	伊藤 則子 (3年)
監 査	木村 由美 (1年)

事務局

事務局長	高橋 豊 (教頭)
会 計	木村 晃彦 (事務長)
事務局員	吉田 佑輔
事務局員	森 志美江
事務局員	別段 健太

学年部・事業部各担当

事業部長	黒澤 和弘 (2年)
事業副部長	伊藤 則子 (3年)
	大木 忍 (1年)
	木村 由美 (1年)
	播間 淑晃 (1年)

	総務担当	生活担当	研修担当
主担当	黒澤 和弘	伊藤 則子	大木 忍
	木村 由美		
	播間 淑晃		
1 学年	小川 紀子	濱名 忍	荒城 美華
2 学年	原田 憲末	小室 国裕	安部真樹子
3 学年	長谷川 文	今村 昭仁	穀内 美香
担当者	吉田 佑輔	森 志美江	別段 健太

高校の情報を掲載したWebサイト

大樹高校 |

検索

大樹高校の最新情報をご覧ください。


<http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>


編集余録

今年の夏は東京オリンピックが開催されました。コロナ禍での開催には不安を感じつつも、選手達の大会までの頑張りと苦勞を思うと、やはり応援せずにはいられませんでした。皆、爽やかで、観ている方も清々しい気持ちになりました。

コロナ禍前のマスク無しの生活や、学校行事に参加し子供達の成長を感じたり、部活動の大会等で声援を送っていた事が、とても懐かしく感じます。そんな風に子供に関われるのも高校生までだと思うので、例えば子供に鬱陶しく思われても、もう少しの間、楽しみながら成長を見守りたいと思います。ですから、1日も早くコロナ禍前の生活に戻り、活気ある日常が戻ってくる事を願っています。

1年A組 保護者 木村 由美

令和3年度事業計画

4月5日 (月)	第1回PTA四役会議 (PTA総会事前打ち合わせ)
4月17日 (土)	PTA総会
5月13日 (木)	第2回PTA四役会議 (役員総会打ち合わせ)
6月12日 (土)	北海道高等学校PTA連合会大会 (旭川市) ※zoom開催
7月9日 (金)	PTA役員総会 (事業部年間計画決定)
7月15日 (木)	学校祭2日目 (一般公開日) PTAによる参加・協力 (中止)
7月下旬	PTAだより「日方川」第130号発行 (10月に変更)
8月下旬	第21回南十勝ブロック3校交流会 (中止)
10月上旬	十勝支部研修会 (中止)
11月10日 (水)	PTA研修会
3月1日 (火)	PTAだより「日方川」第131号発行
3月中旬	第4回PTA四役会議 (新PTA四役選出)